

令和3年度 県立土浦第一高等学校(定時制) 自己評価表

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな人間性の涵養と人格の形成を図り、自立し、他者と協働して生きていくために身に付けなければならない力を育てる。 教職員の共通理解の下、生徒一人一人がもつ能力・適性を生かし、社会に貢献し得る人間の育成を目指す。 			
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況	
<p>「重点目標」「具体的方策」の各評価項目において、いずれの分野においても適切かつ妥当な評価を得ている。</p> <p>今年度の本校教育活動の一層の充実を図るための課題は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力定着と分かる授業の展開 進路指導の充実 基本的な生活習慣の確立 生徒理解の充実 学校情報の積極的発信 働き方改革の推進 	基礎学力定着と授業の工夫・改善	①一人一人の能力の向上を図るため、個に応じた授業を行い、基礎学力の定着に努める。 ②授業において、個々の生徒の学習を支援しながら知識と技能の着実な習得を図る。 ③全ての教員で学習指導の工夫・改善を図り、分かる授業を展開する。		
	進路指導の充実	④三修三卒希望者への積極的な支援に努める。 ⑤生徒一人一人の希望に沿った細やかな指導を実施し、各生徒の進路実現に努める。 ⑥進路情報の収集と提供に努め、進路に関するホームルームなどの充実を図る。		
	基本的な生活習慣の確立	⑦社会の一員であることを自覚させ、責任ある行動がとれる人間の育成に努める。 ⑧規範意識の高揚を図るとともに、清潔感のある身だしなみを意識させる。 ⑨挨拶の励行に努め、好ましい人間関係をつくる能力を身に付けさせる。		
	個別指導(生徒理解)の充実	⑩生徒に対する個々の支援を充実し、細やかな心のケア・学習相談・進路相談を実践する。 ⑪日常的な関わりを通して生徒理解を深めるとともに、生徒間及び教員と生徒との望ましい人間関係を構築する。 ⑫キャリア・パスポートの活用を通して、生徒の自己理解を促しながら、きめ細かい指導を行う。		
	学校情報の積極的発信	⑬学校ホームページを毎月更新し、学校情報を積極的に発信する。 ⑭中学校訪問等を充実させ、教育活動を積極的に紹介するとともに、地域社会に定時制教育の理解を求める広報活動を行っていく。		
働き方改革の推進	⑮会議資料等の紙媒体での配布を控え、デジタルデータで共有するよう努める。 ⑯業務の精選と効率化を図るとともに、休暇を取りやすい雰囲気をつくり、働き方改革への意識を高める。 ⑰在校時間管理システム等の活用により、時間外勤務の削減を図り、勤務時間の適正化に努める。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題
教科指導	基礎学力の定着を図る。	一人一人の能力を把握し、必要に応じて補習授業等を積極的に実施する。 ①②		
	個に応じた指導の充実を図る。	観察、応答を通して、生徒の理解度、達成度を把握しながら授業を展開し、「読み」「書き」「計算」などの基礎学力の定着に努める。 ①③		
教科	国語	低学力の生徒から大学進学を目指す生徒まで個々の学力・能力に応じた個別指導の充実に努める。 ①⑤		
		小テスト等を実施し、生徒の理解度・到達度の把握に努める。 ①③		
		漢字・語句に関する小テスト(月2回程度)の実施をとおして、語彙力の向上に努める ①②		
	地歴公民	生徒の興味・関心や共感もてる教材を選択し、生徒が主体的に参加する授業を展開する。 ②③		
		定期テストの結果を踏まえ学習理解の定着が不十分な生徒については補習を行う。 ①②		
	数学	基礎学力の向上を目指した指導の充実を図る。	基本的な内容の理解ができていない生徒が多い状況を踏まえ、進度を抑えるとともに、他教科の内容なども含めた基礎の学習を心がけ、高校生の履修内容にふさわしい程度にまで理解を深める。 ①②	
基礎学力の向上を図る。		基本的な内容に十分な時間をかけて指導する。 ①		
		単元、節ごとに確認テストを実施し理解度を把握する。 ①②		
学習習慣の定着を図る。	始業前に希望する生徒を対象に、課外授業を実施する。 ①⑤			
		ノートを定期的に点検し、ノートを取る習慣づけをする。 ①		

教科	理科	基礎学力の向上を図る。	生徒が教科書の内容をまとめ、発表する機会を設定し、授業を進める。	②		
			体験的な活動を充実させるため、実験を多く取り入れる。	③		
			ノートを定期的に点検し、学習の理解を把握する。	①		
		三修三卒、進学や就職等進路希望に対応した指導の充実に努める。	高卒認定試験、入試や就職試験などの必要に応じて、課外、個別指導等を実施する。	①⑤		
	保健体育	生徒の実態を踏まえた指導計画の充実に努める。	年齢層、能力差の大きい定時制生徒の実態を踏まえた調和のとれた弾力的な年間計画にする。	①		
			運動の楽しさや達成感を味あわせる指導の工夫を図る。	①③		
			保健学習における内容の重点化を図り、単元指導計画の工夫・改善をする。	③		
		豊かなスポーツライフの実現を図る。	互いに協力し練習やゲームを通して体力・能力を高め生涯体育につなげると共に、コミュニケーション能力を高める。	②		
			学習の効率や安全性を高める集団行動の指導を徹底する。	②		
		健康な生活への実践力を培う。	課題学習やライフスキル教育等、多様な体験的・実践的学習方法の活用や受け身にさせない自主的・自発的学習を促進する。	①		
	英語	基礎学力の向上に努める。	ICT機器を活用して、映像等を使い、授業時間の中で英語表現を覚えさせる。	①②③		
			始業前、放課後において、課外学習や課題の添削を実施する。	①		
			ファイルやノートを定期的に点検し、生徒たちの授業への取組の改善を図る。	①②		
		オーラルコミュニケーションの活用に努める。	アクティブラーニングを取り入れ、グループワークをなどで思考力・判断力・表現力を養う授業を積極的に行う。	①③		
			授業時における生徒相互の会話において、ペアやグループで、英語を積極的に使用させる。	①③		
		家庭	授業内容の充実に努める。	授業内容を精選し、教材や指導方法を工夫する。	①③	
	生活技術の向上に努める。		実習の時間を出来るだけ多くし、意欲的な取り組みを図る。	①③		
	情報	基礎学力の向上に努める。	情報社会に対応できる基礎的な知識の定着を図る。	①②		
			パソコンに関する基本的な知識や操作の定着を図る。	①②		
	商業	基礎学力の向上に努める。	基本的な内容に十分な時間をかけて指導する。	①②		
課題学習の内容を精選し、教材や指導方法の工夫をする。			①③			
教務	PTA活動の充実に努める。	コロナ対策のため、総会の書面決議を迅速に進める。				
		保護者懇談会やPTA新役員の選出を円滑に行う。	⑭			
	アルバイトを奨励する。	アルバイトを奨励し、アルバイト90日助成を行う。	⑦⑧⑨			
	授業時間の確保に努める。	教科・科目の授業時数のバランスを図るため、授業の振替及び曜日の入替により偏りを減らす。	③			
生徒指導	生徒主体の学校行事を行い、生徒会活動の充実に努める。	総合的な探究の推進を図るため、教材等を十分に検討する。	⑦⑧⑨			
		学校情報を積極的に発信する。	ホームページをこまめに更新するとともに、中学校訪問等を充実させる。	⑬⑭		
生徒指導	生徒主体の学校行事を行い、生徒会活動の充実に努める。	生徒会を中心に生徒主体の行事を実施し、自治的精神を涵養する。	⑦			
		学校行事等でキャリア・パスポートを活用し、人間関係形成・社会形成能力の育成を図るとともに、継続的な生徒会活動を充実させる。	⑦⑫			

生徒指導	課題を明確にした指導体制の充実に努める。	実態を把握した生徒指導体制づくりをする。(共通理解から共同実践へ)	⑦⑧⑨		
		巡回・巡視活動を通して、問題行動等の未然防止と解消を図る。	⑦⑨		
	日常生活上の諸問題を生徒自らが解決する取り組みの充実に努める。	好ましい人間関係づくりと自己抑制能力を身に付けるための取り組みの活性化を図る。	⑦⑨⑪		
		いじめ、不登校、中途退学、暴力行為等の問題行動等を生徒自らが解決する活動を支援する。	⑩⑪		
	連携・協力して問題を解決する体制づくりの充実に努める。	教育相談体制を確立する。(般に閉じこもる傾向にある生徒への積極的な声かけ)	⑩⑪		
進路指導	個に応じた多様な進路指導の充実に努める。	保護者、地域社会と信頼関係を構築する。	⑬⑭		
		教職員間、学校と家庭、地域社会、関係機関との情報交換の推進と協力連携の強化を図る。	⑩⑬⑭		
		進路説明会・就職指導の実施：全校生徒を対象に就職・進学などの進路に応じ、説明会を実施する。 また面接の練習な3069、きめの細かい就職指導をする。	④⑤⑧		
		進路意識の涵養：折に触れて進路意識を養うように努める。 具体的進路実現に向けた支援：個々の生徒の進路実現をより具体的に把握し、ホームルーム担任と連携し、その実現に努める。	⑤⑥⑩⑫ ④⑤⑥⑫		
保健給食	心身の健康に留意し、規則正しい生活の促進に努める。	新型コロナウイルス、インフルエンザ等学校感染症予防を徹底する。	⑩		
		心身の悩みに関しては、その都度適宜相談に応じる。	⑩⑪		
	学習環境の安全と衛生に努める。 給食での衛生・マナー指導のさらなる向上を図る。	清掃の徹底を心がけ、美化意識を高める。また、放課後の消毒を徹底する。	⑦⑧⑨		
		避難経路を作成し、安全・迅速な防災訓練の実施をする。	⑦		
第1学年	定時制の生活へ早期転換の支援に努める。	毎食ごとの手洗いの実施を引き続き行うとともに、食前後の挨拶を奨励する。	⑦⑨		
		定時制の特性を、オリエンテーション等を活用して、理解させる。 生活実態調査や生徒面談、保護者との密な連絡等を積極的に実施して、生徒の情報収集に努める。そして生徒一人一人の生活環境等を把握するとともに生徒理解に努める。	⑧⑨ ⑩⑪		
	望ましい学級集団づくりに努める。 基本的な生活習慣の確立と豊かな人間性の育成を図る。	生徒一人一人と積極的に関わり、生徒との好ましい人間関係をつくる。	⑦⑨⑪		
		生徒一人一人の意見や考えを尊重し、協力し合う楽しく明るい活気ある学級集団づくりに努める。	②⑪		
		集団生活の中における個を理解させる。 生徒相互のかかわり合いの中から思いやりの心を育成し、それとともにトラブルや葛藤、つまずき等乗り越えるたくましい心を育てる。	②⑦⑪ ②⑦⑪		
規範意識や社会性の育成を図る。	社会人として自立するための知識や技能(挨拶・礼儀・マナー)を身に付けさせる。	⑦⑧⑨			
第2学年	自己実現を図るための基礎学力の向上に努める。	定期考査等を有効活用し、努力することの大切さや必要性を理解させる。	①⑤		
	進路指導の充実に努める。	三者面談を行い生徒・保護者の希望を確認し、よりよい進路実現を目指す。	⑤⑪		
	規範意識や社会性の育成を図る。	社会人として自立するための知識や技能(挨拶・礼儀・マナー)を身に付けさせる。	⑦⑧⑨		

別紙様式 2 (高)

第3学年	自己の適性を見つめ、適切な進路選択を図る。	希望する生徒には3修3卒を積極的に働きかけ、生徒の進路実現につなげる。 進学希望者には、学校の紹介や学費の説明を通して、選択肢の数を増す。	⑤⑪ ④⑤		
	家庭との連携に努める。	三者面談を通して、生徒の家庭での不安や悩みの解決に努める。 遅刻や欠席を減らすために、家庭への連絡を密に行い、進級・卒業を目指させる。	⑤⑪ ⑦⑩		
	規範意識や社会性の育成を図る。	社会人として自立するための知識や技能(挨拶・礼儀・マナー)を身に付けさせる。	⑦⑧⑨		
	進路意識を涵養し、最善の進路実現を図る。	個人面談や普段からの働きかけにより、生徒自らが進路意識を高め、最良の進路選択および積極的に進路活動ができるよう指導する。	⑤⑥		
第4学年	基礎学力の向上に努める。	定期考査等を有効に活用しながら、進路を実現するための学力を定着させる。	①⑤⑥		
	規範意識や社会性の育成を図る。	社会人として自立するための知識や技能(挨拶・礼儀・マナー)を身に付けさせる。	⑦⑧⑨		
働き方改革	働き方改革への意識を高める。	資料等をICTで共有するなどして、業務の見える化を図り、働き方改革への意識を高める。	⑮⑯		
		勤務時間の管理を徹底する。	⑰		

※ 評価規準：[A、B、C、D、Eの5段階で評価する]

- A・・・十分達成できている
- B・・・達成できている
- C・・・概ね達成できている
- D・・・不十分である
- E・・・できていない